

第11号
令和5年1月27日発行

自主学習通信



～引き出せ！子どもの力！！～

大阪市教育委員会事務局
第2教育ブロックグループ



実践校紹介⑥

自主学習で自己肯定感を高める! ～主体的・協働的な学びの実現のために～

大阪市立城東小学校

事務局： 城東小学校における自主学習の取組についてお聞かせください。

松本校長： 城東小学校では、これまで「児童の自主学習習慣の確立」をめざして、具体的な目標を「児童の家庭学習を宿題から自主学習に切り替えること」と定めて取り組んでんできました。

事務局： 現在、家庭学習を自主学習のみとしている学年や学級はございますか。

松本校長： 6年生では、年度当初から宿題を出さず、家庭学習は自主学習のみとする取組を進めています。6年生以外の学年では児童の発達段階や実態を考慮しつつ、自主学習と宿題の両方に取り組ませています。

事務局： 学年別の取組について教えていただけますか。

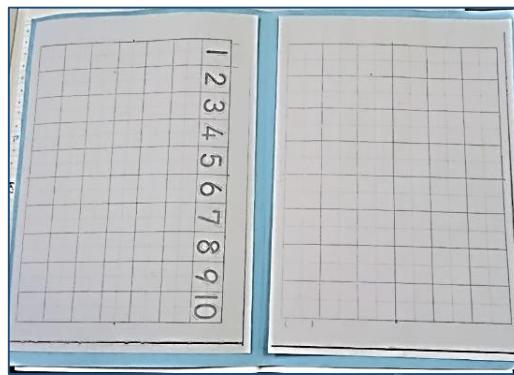
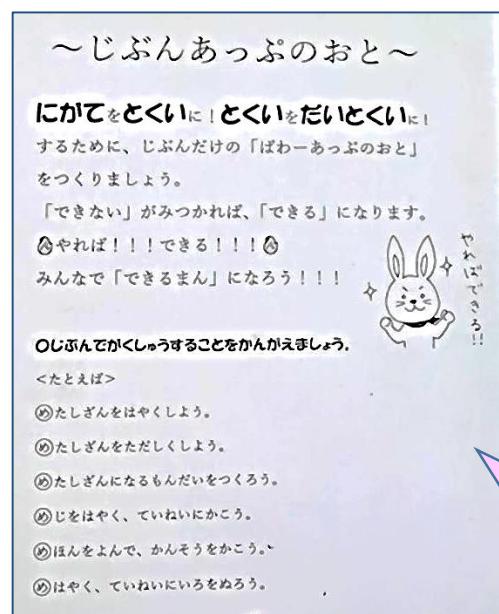
松本校長： わかりました。取組の詳細は、低学年・中学年・高学年の先生方から説明してもらいますね。



松本 康之 校長先生

★低学年の取組について★

小林先生： 1年生では、子どもたちが宿題に慣れてきた時期を見計らい、「～じぶんあっぷのおと～」という自主学習の取組を始めました。「苦手得意に！得意を大得意に！」というキャッチフレーズを提示し、子どもたち自身が、自分で学習する内容を考え、ノートに書くことに挑戦させました。



「自分あっぷのおと」の進め方を、子どもたちの自主学習ノートの1ページ目に貼り、自主学習の進め方を示している



1年担任 小林先生

自主学習の内容に偏りがないように、見開きで、国語と算数のノートを片面づつにしている

事務局：実際に取組を進めてみて、子どもたちの反応はいかがですか。

小林先生：子どもたちは、自分のできる範囲で、一生懸命取り組んでいます。計算問題をつくって解いたり、ひらがなや漢字の反復学習をしたりする子どもが多いです。

事務局：家庭学習における宿題と自主学習のバランスのとり方については、どのようにお考えですか。

小林先生：入学当初は、子どもたちが自主学習の習慣を身に付けていくための手立ての1つとして宿題を出すことで、家庭学習の習慣を身につけさせたり、家庭学習の内容をつかませたりすることが必要だと感じています。今でも日常的に宿題を出していますが、「じぶんあっぷのおと」は好きなタイミングで取り組ませたり、子どもたちの様子や宿題の量に配慮しつつ、こちらから「今日はおうちで『じぶんあっぷのおと』をしてきてね」と伝えたりしています。また、**あらかじめ取組内容を例示することで、自分に合った学習を選択できるように**しています。家庭学習のメインは宿題ですが、自主学習もできる範囲内で取り組ませることで、少しずつ慣れさせていきたいと考えています。

事務局：ありがとうございます。子どもたちができる範囲で取組を進めることで、学年が上がるにつれて定着していくよう感じます。

続いて、中学年での取組について、お話を聞かせていただけますか。

★中学年の取組について★



安倍先生：4年生では、宿題として自主学習を出すことが多いです。宿題と自主学習は違うという考え方もあるかと思いますし、難しいところだと感じています。ですが、**「宿題だけれども、自分で学習する内容を選んで取り組むこと」が、目の前の子どもの実態に合った進め方**だと思っています。例えば、「テストに向けた勉強を自主学習ノートにしましよう」と伝えると、子どもたちは「算数のわり算の筆算をしようかな」「漢字が苦手だから、漢字の復習をしよう」と、**自分の学習状況に向き合いながら学習内容を選んで自主学習をします。**

事務局：先程の1年生の自主学習の進め方と同様、自主学習ノートを活用して、学年の子どもの実態に合わせておられるのですね。

安倍先生：そうですね。毎週金曜日は自主学習をするように声かけをしているので、週明けには自主学習ノートを提出する子どもが多いです。少しずつでも**続けることを大切に**考えています。

事務局：他に自主学習の取組で工夫されていることはありますか。



4年担任 安倍先生

安倍先生：はい。自主学習ノートを友達と見せ合い、互いに良いところを見つけたり、自主学習ノートをコピーして掲示したりしています。



事務局：自主学習ノートを交流することで、子どもたちの意欲向上にもつながっているのですね。

安倍先生：はい。意欲をもたせて楽しみながら取り組めるしあげが必要だと思っています。

★高学年の取組について★



事務局：高学年の取組について質問させていただきます。

6年生では、宿題を出さず、子どもが家庭で自主学習に取り組んでいるということですが、取組の経緯や内容を教えていただけますか。

玉村先生：はい。本校の研究の柱の1つに、「自主学習の推進」があります。自主学習を通して「**自分に必要な学習内容を選んで取り組む力**」をつけてほしいと考えています。

5年生の時も自主学習に取り組ませてもらいましたので素地はあるものの「自主学習習慣の定着」とまではいきませんでした。まだ、与えられた課題をこなす意識の方が大きく上回っていました。

そこで、6年生では宿題を出すのではなく、毎日家庭学習として自主学習に取り組むことにしました。思い切った方法ですが、管理職とも協議し、学年や学校全体で共通理解のもと進めています。



6年担任 玉村先生

事務局：子どもたちは、家庭で自主学習に取り組めていますか。また、保護者の反応はいかがですか。

玉村先生：事前に子どもたちは「宿題を出さないけれど、自主学習をするために出さないんだよ」「“自分から勉強に取り組む力”を身につけてほしいんだよ」と伝えましたが、誰もがすぐ取り組めるわけではありません。はじめは「宿題がない」ことを都合よく解釈し、自主学習をしてこない子どもがいました。

保護者からも心配の声があがりました。そこで、**学級活動の時間等を活用して自主学習の指標を示したり**、「**自主学習をするとどんないいことがあるの？**」

「**自主学習で自分をレベルアップさせよう！**」と話し合ったり、保護者にも学年だよりや懇談会でご理解いただけるよう働きかけたりしました。

今では、**子どもたち一人一人が自分のペースで、必要な学習を選んで自主学習に取り組んでいます。**

事務局：先生も子どもも継続して取り組むことが大切ですね。
自主学習に関する実際の授業を参観させていただけますか。



玉村先生：ぜひ参観してください。

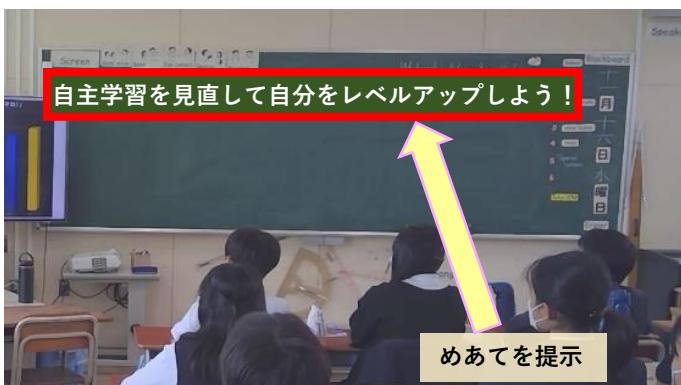


次ページでは、6年生の授業「**自主学習で自分をレベルアップしよう**」を紹介するでござるよ。実際のノートもご覧あれ！

6年 授業 「自主学習を見直して自分をレベルアップしよう！」



①

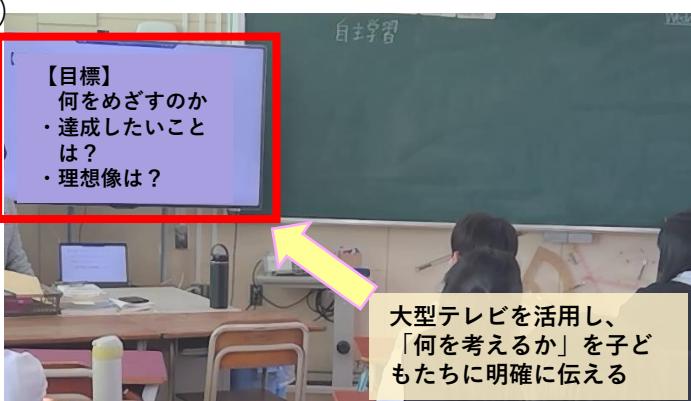


学習活動① 【めあてを捉える】

先生：今日は、自主学習を見直して、さらにレベルアップするための方法を考えます！

児童：自主学習のレベルアップって何？
児童：私は漢字の自主学習が多いよ。

②



学習活動② 【自主学習の目標について考える】

先生：達成したいこととは何だろう？
児童：テストで満点をめざしたいけど…

先生：計画・テスト・分析・練習を繰り返そう！

児童：間違えたところの分析はしたけれど、その後の練習はできていないな。

③



学習活動③ 【自主学習ノートを見合い、意見を交流する】

先生：友達の自主学習ノートのいいところや、アドバイスを付箋に書いて伝え合ってごらん！

先生：ほめることも大切だけれど、お互いよりよい自主学習ができるように話し合おう！

児童：お互い教科が偏っているね。

④



学習活動④ 【付箋をもとに自分のノートを振り返る・自主学習の悩みを出し合い解決方法を考える】

先生：自主学習でもっとレベルアップするにはどうしたらいいかな？
お互いの悩みと解決方法もアドバイスし合おう！

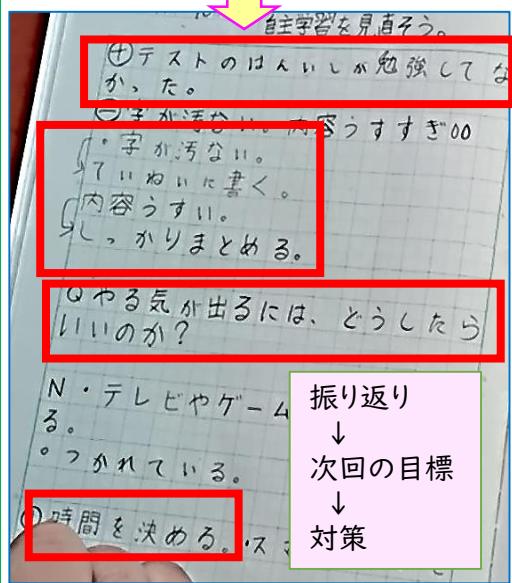
児童：テレビなど遊びの誘惑に負ける
児童：気が散るときは、時間を決めたらいいと思うよ。

児童：毎日少しでも自主学習をして、友達と見せ合うのもいいよね

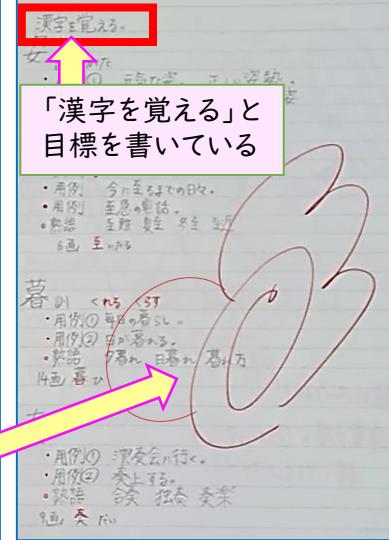
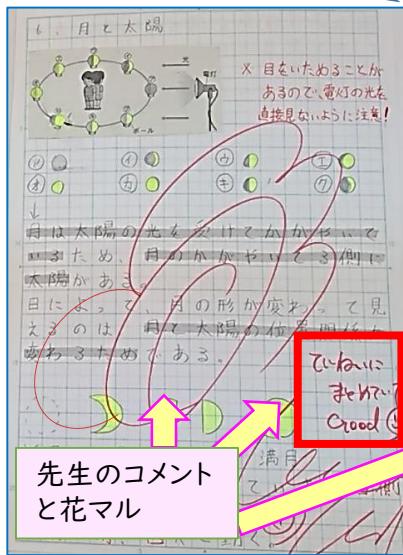
★子どもたちの自主学習ノートの紹介★



「自主学習を見直そう」の授業で、実際に子どもが書いたノートを紹介！



普段の自主学習ノート



★その他の自主学習の取組と今後の方向性について★

事務局： 各学年の自主学習の取組のお話や、実際の指導の場面、ノートの紹介をありがとうございました。その他、学校として取り組まれていることはありますか。

松本校長： 本校の自主学習の大きな取組として挙げられるのは、夏休みの宿題は、全学年で「自主学習」としていることです。プリントを大量に印刷した「夏休みの学習プリント集」については、今はしていません。もちろん、学年の実態に合わせて「自主学習の例・方法」等を提示する等の種まきは必要ですが、日頃から取り組んでいるからこそ実現できると考えています。

子どもたちが自分から学ぶ力、自分に必要な学習を選ぶ力、興味・関心をもったことを探究する力がつくよう、学校全体で取組を進めています。

宿題を出さず、子どもが毎日自主学習するように進めることは、ハードルが高いイメージがあるかもしれません。ですが、先生方が思い切って取組に挑戦できるような校内の雰囲気や環境を整えることで成果をあげることができると考えています。

★編集後記★

今回、城東小学校の「自主学習の取組」の取材で最も印象に残ったことは、学級活動等の時間を活用して、自分の自主学習ノートを見返し、自主学習の仕方に向き合う機会をつくったり、先生や友達にアドバイスをもらってステップアップにつなげたりしていたことです。また、自主学習に関して同じような悩みを持つ友達と一緒に、解決方法を考える姿を見て、子どもどうして自主学習習慣の確立をめざす環境も整っていると感じました。同時に、「自主学習の継続」のために、先生方がさまざまな支援や種まきを工夫し、実践されていると思いました。城東小学校の先生方におかれましては、取材にご協力いただき本当にありがとうございました。

